

# 萩 ネットワーク

第13号 1997年1月  
 発行：萩ネットワーク協会  
 〒758山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内  
 TEL0838-25-3131 FAX0838-26-5458

萩城が築城されて400年、五層白亜の天守閣が解体されて、120年になります。

今残っている石垣の「扇の勾配」と呼ばれる美しいラインから、往事の城郭の美しさをしのぶことができます。

## 雪の日の萩城跡

400年の風雪に耐えて石垣を眺めながら、歴史の変転を思うと、書物の中にある歴史が身近なものになります。

観光客は少ないシーズンですが、雪で薄化粧した城跡の風景は、また格別の趣があります。

## 雪で薄化粧した萩城跡



### 目次

萩焼吉賀さんに日展最高賞	2
インターネットカフェ誕生	2
野村市長（会津若松訪問記）	3
野坂さん山口県科学技術振興奨励賞受賞	3
松本二郎さん「萩の乱」復刊	4
笠山に植樹	4
海外ボランティア活動	4
マグロ漁問題	4
上里さん「ソフト開発拠点」構想	5
女子短大を4年生大学に	5
「幕末パン」を手作りで	5
文化財建造物に「明倫小」と「萩駅舎」	6
山陰自動車道整備促進期成同盟会	6
「萩往還」が歴史の道百選に	6
社長インタビュー・広瀬松次郎さん	7
毛利公ゆかりの史跡	7
広島指月会発足	7
情報アラカルト	8

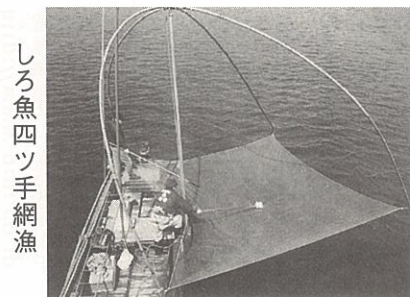
◆萩・椿まつり  
 笠山の椿群生林が深紅の花をつけて皆さんのお越しをお待ちしています。  
 と き 2月22日（土）  
 ～3月23日（日）  
 ところ 萩市越ヶ浜・笠山椿群生林  
 ＊期間中の土・日には、市内と会場を結ぶシャトルバスが運航されています。



萩・椿まつり

深紅の花がお迎え  
 萩・椿まつり  
 萩の早春の風物詩  
 「しろ魚まつり」

◆しろ魚まつり  
 ふるさと萩の早春の味に舌鼓をうつてみませんか。  
 と き 3月9日（日）  
 ところ JR東萩駅前地下道  
 内容 しろ魚のおどり  
 食いや雑炊、天ぷらなどしろ魚を使った料理を味わうことができます。しろ魚の即売コーナーもあります。

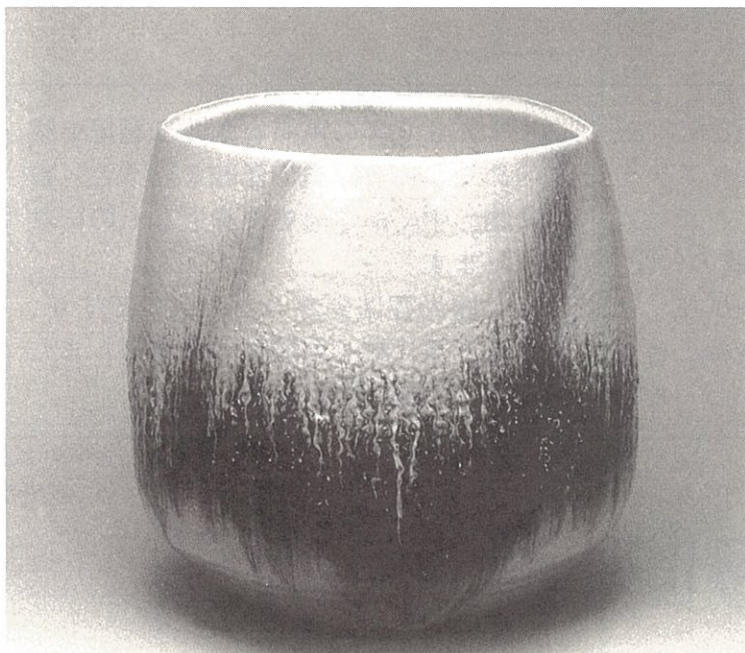


しろ魚四ツ手網漁

# 萩焼の吉賀さん

## 親子二代で日展の最高賞

萩市椿東の萩焼作家吉賀将夫（よしかはたお）さん53歳は、第28回日展で最高賞の文部大臣賞を受賞、物故された父・大眉さんも総理大臣賞（昭和44年当時の最高賞）を受賞しているの、親子二代続いての受賞となりました。



文部大臣賞受賞「ある光景の印象」

### 吉賀将夫さんの略歴

- 1943 (昭和18) 年 吉賀大眉氏の長男として誕生
- 1967 (昭和42) 年 東京芸術大学美術学部工芸科卒業
- 1969 (昭和44) 年 東京芸術大学大学院修了 (陶芸専攻) 山口芸術短期大学講師
- 1971 (昭和46) 年 個展開催 以後22回開催
- 1975 (昭和50) 年 日展初出品入選 以後連続入選 山口県美展 文部大臣奨励賞
- 1976 (昭和51) 年 山口大学助教授 現代工芸美術展初出品入選 以後連続入選
- 1978 (昭和53) 年 山口県美展特別賞
- 1979 (昭和54) 年 山口県芸術文化振興奨励賞
- 1983 (昭和58) 年 現代工芸美術展 NHK 会長賞 日展特選
- 1985 (昭和60) 年 日展特選
- 1987 (昭和62) 年 日本陶芸展推薦出品 以後5回連続 日展出品委嘱
- 1989 (平成元) 年 日展審査員
- 1990 (平成2) 年 山口大学教授
- 1992 (平成4) 年 日展審査員
- 1994 (平成6) 年 日展審査員
- 1996 (平成8) 年 日展評議員 日展文部大臣賞

受賞作品「ある光景の印象」は高さ38センチ、横40センチのシンプルでボリューミー感のある壺で、上部は白、胴の部分は深みのある青や黒、淡いピンクが入り交じっています。

父の大眉氏は54歳の時、代表作となる「暁雲」で日展総理大臣賞を受賞し、その後、日展常務理事をつとめ、文化功労者に選ばれたなど、文字通り功なり名を遂げた人です。将夫さんは大眉氏の長男と

余り偉い父親を持つと、それがプレッシャーになって子供としては同じ道に進みにくいということもあるのですが、吉賀さんの場合は、きわめて自然に焼き物の世界には入れたようす。

子供の頃から職人さんが口クロを回すのを見て、土の塊が見る見るうちに湯飲みや茶碗の形に変わって行くのがとても面白かった、と云います。

粘土を形成して窯に入れ、焼き上げて作品が完成する訳ですが、窯は父大眉氏と一緒にに入れて焼きました。大眉氏は自分の窯を知り尽くしているの、まず自分の作品をほどこく焼ける最適の場所に入れて、将夫さんは後から入れるので、入り口に近い火勢の強いところに入れることが多かったそうです。

この経験をもとに将夫さんは新しい技法を開発し、自分

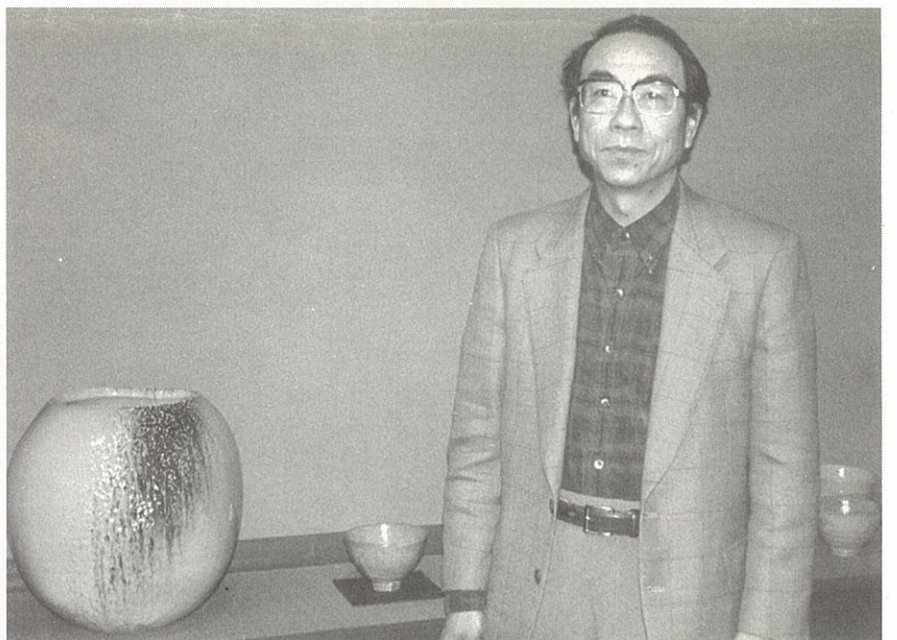
### 萩焼の家に生まれ育って

して生まれ、同じ陶芸の道に進んで、27年後に同じ賞を受賞した訳で、親子で最高賞を受けるのは日展陶芸部門では初めての快挙です。

### 最高賞への道

そして小学校を卒業するとき、担任の先生に自分で作った茶碗を記念品としてプレゼントしました。

しかし本気で萩焼をやるうと決めたのは、高校2年のとき、進学コースを決めたときです。東京芸術大学、大学院（陶芸専攻）と進み、卒業と同時に山口芸術短期大学、山口大学の講師に就任しました。そして萩焼作家として本格的に制作活動を始めました。



吉賀将夫さん

の作風を確立しました。

萩焼の登り窯は普通1200度ぐらいで焼くものとされています。それ以上温度を上げると形が崩れてしまう恐れがあるからです。

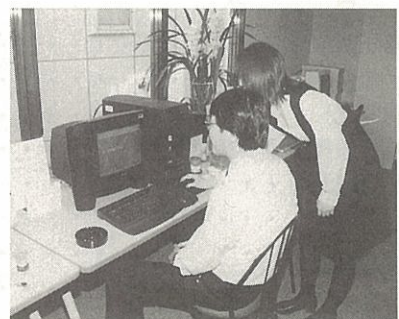
しかし限界の温度に耐えた作品は、他では見られない迫力を持っています。受賞作品「ある光景の印象」は1450度ぐらいで焼き上げたものなのです。

吉賀さんは4年前に新しい登り窯をつくったので、この窯を使って新しい試みに挑戦しようと思いを燃やしています。

子供の頃、粘土の塊まりが器に変身するのが面白かったように、窯に火を入れて粘土の器がまた別のものに変身する、それがどう変わるか、窯をあけるのが楽しいと云います。

幼い頃か見ている波の光、残照など萩の海・山・空のイメージを主題に、焼き物だけが持つ特有の美しさを追求し、これまでやってきたことをさらに発展させるつもりです。

## コーヒー片手に 世界へアクセス!



インターネットカフェ、萩に誕生!

（450円）です。それとパソコンを操作しながらでも食べることのできるホットサンド（5種類、各300円）です。これは、店長の熊谷さん。メニューも豊富で、ぜひ普通の喫茶店に行くような気楽な気持ちで来店していただければとのこと。

いまだ萩になかった、新しい形のスポットになりそう。ぜひ帰省された折には、このインターネットカフェ「pipi」に立ち寄って、ふるさと萩から世界へ発信してみたいかががでしょうか。

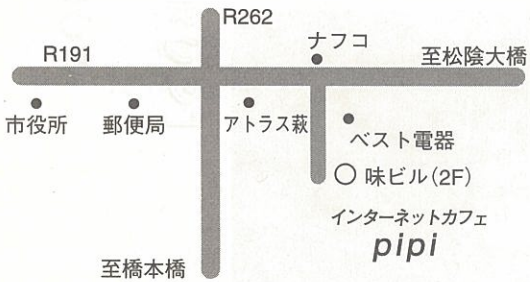
今話題のインターネット。そのインターネットを気軽に体験できる「インターネットカフェ」が萩に開店しました。それがインターネットカフェ「pipi（ピピ）」です。

「pipi」とはパソコン用語にはCPUなどピの発音が多く、またパソコンの起動音も「ピピッ」と鳴ることから覚えやすいように名付けたとか。

喫茶店も兼ねているため、コーヒーを飲みながらインターネットを楽しむことができます。インターネットの使用料金は会員登録（1年間、200円）をしておけば、30分までが500円、その後は10分ごとに100円追加するだけで国内だけでなく世界各地の情報を手に入れることができます。従業員もパソコンに詳しく、初心者でも気楽にアクセスが可能。

「おすすめのメニューは、本格的な味の楽しめるエスプレッソコーヒー」

インターネットカフェ pipi  
 萩市土原494番地の1 (味ビル2F)  
 電話 0838・24・2323  
 ホームページ <http://www.pipi.co.jp>  
 営業時間 午前10時～午後8時 (毎週火曜日定休)



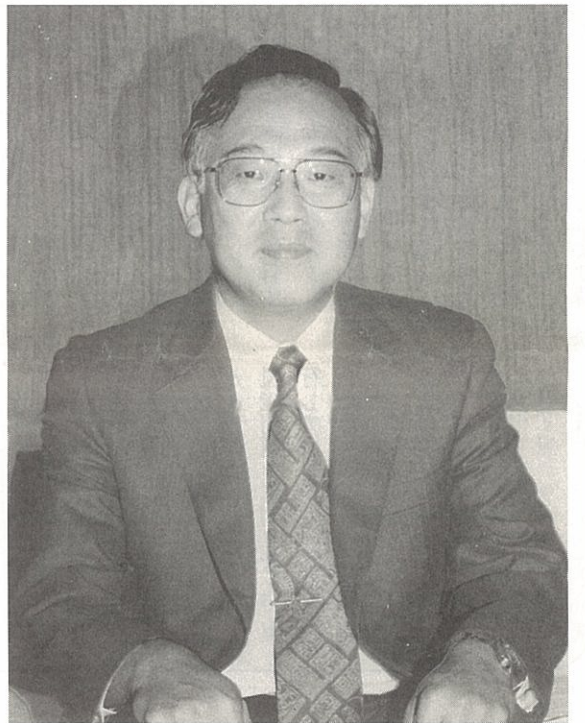
# 会津若松訪問記

## 雪解けの日まで交流の努力を

萩市長 野村興児

会津風雅堂といえは御菓子屋の老舗風に見えるが、会津若松市のれつきとした文化会館。この会館で催される市民参加の手づくり舞台「早春譜」の招待状が、会津若松市の文化財団と舞台製作委員会の連名で送付されてきた。併せてその劇の脚本も届けられ、早速目を通して驚いた。その内容は、会津の旧家の娘と長州萩の青年の結婚話と軸に、会津と長州の永年のわだかまりを主題としたものである。両地の今までの歴史経緯からすれば、会津の地にかかる劇が公演されるなど、そして市民劇として公募され、市の文化財団がこの劇を最優秀作品に選出するなどという事は信じがたいというのが、とっさの感想であった。御承知のとおり、今を去る百二十七年前の戊辰の役における会津戦争のために、会津と長州との間には、未だなおこだわりが続いている。いや正確に云うと会津側におお長州への恨みとも云える感情が根深く残っている。かつて萩の青年会談所が会津に対し友好の申入れを行ったが、けんもほろろに一蹴されてしまったとのこと。行政サイドでも同様の申入れをするが、同様に時期尚早と拒否される。会津若松市長が友好改善に努めようとすると、次の選挙の折その政をもつて批判を受け、それが一因となって落選と伝えられている。会津においては未だ戦後は終わっていない。この場合、戦争とは勿論百二十七年前の戊辰の役である。ところで会津若松市にお

長を後日苦しい立場に追い込むことになりはしないかとの懸念から出しかけた手を思わず引つ込める場面もあった。このような種々の思いの中にありながらも市民劇「早春譜」自体は、申し分ない素晴らしい出来栄であった。涙こぼれんばかりに大いに感動した。翌日の一般公開には長蛇の列が会館を取り囲み、観客で満員であったと聞く。また再度の公演を求める声も強いつも聞いている。何とかこの劇を萩で公演してもらおうことが出来ないか、萩から行った者の共通の思いとなった。劇団側と話し合い三月末に萩公演ということになったものの、その後の製作委員会、主役級の何人かが、転勤や進学のため出演が困難となり、十二月に代表の方々が断りのためわざわざ来萩された。これを機会に、長州と会津との新しい交流が始まると思っていた矢先に残念至極であるが分かる事情であるからやむを得ない。後日談となるが、会津若松の十二月の定例市議会において本件が一般質問に出たこと。質疑者からは、「早春譜」の素晴らしさに賛辞がこぼられ、議場からも拍手が起った。そして、萩でも公演すべしとの意見が付け加えられたと聞く。私の山内市長への気遣いは、どちらかと云えば杞憂であったとの印象すらある程である。歴史は、消しゴムで消せるようなものではない。しかし憎悪が憎悪を呼ぶとの悪循環は繰り返してはならない。歴史的事実は事実としてしっかりと踏まえた上で、また今までの多くの先達の交流の努力も念頭に置き、今後の両市の新しい交流の芽が育っていくことを心から願うものである。



科学技術庁航空宇宙技術研究所  
角田宇宙推進技術研究センター

推進薬研究室長  
**野坂正隆さん**

(旧姓、長谷川 萩高18期卒)

### 宇宙新時代の幕開け

21世紀を目前にして、宇宙開発の新時代が幕を開けようとしています。日本も参加して国際協力で進められている宇宙ステーションの建設が今年から開始され、アメリカでは、スペースシャトルにかわる新しい再使用ロケットの開発を進めています。日本が持っているロケット技術は、

た昭和47年ごろは、H-IIロケットの前身であるH-Iロケットやテレビの天気予報でおなじみの気象衛星もなく、宇宙開発が一部の人の間でしか語られない時代でした。

### 私の研究「ロケットエンジン」 「極低温潤滑」

このH-Iロケットは2段目の液体ロケットエンジンを

となっていました。燃料ポンプの軸受と軸シールの故障は、ただちにロケットエンジンの爆発事故につながるからです。

一般的に機械で使用される軸受は油で潤滑しますが、ロケットエンジン燃料の液体水素を使うような極低温では油が凍ってしまつたため、固体潤滑という特殊な潤滑方法が必要になってきます。この固体潤滑という方法は、人工衛星など宇宙の真空中で動く機械などに広く使われています。簡単にいうと、テフロンなどのプラスチックや鉛筆の芯の黒鉛など、滑りやすい固形物を油のかわりに使つて物を動かすやり方です。

## 山口県科学技術 振興奨励賞を受賞して

潤滑という方法は、人工衛星など宇宙の真空中で動く機械などに広く使われています。簡単にいうと、テフロンなどのプラスチックや鉛筆の芯の黒鉛など、滑りやすい固形物を油のかわりに使つて物を動かすやり方です。

### ふるさとから 「奨励賞」の プレゼント

一昨年のことですが、深夜に突然、萩高時代からの友人である大田浩氏(小畑漁業協同組合幹事、勝丸船長)の声を聞かされたのは驚かされました。テレビで見島近海で黄金色の大きなひらめが取れたニュースが放映され、そ

れに彼が映っており、こんなに離れた地でも何かが通ずるものがあるのだと思えました。大田氏にその話をしながら、今度は本物の黄金でも釣ればいいのにと冗談に言っていました。まもなく、私の研究論文がアメリカの学会から表彰され、また今回、「ロケットエンジンの極低温潤滑に関する研究」により、山口県出身者として山口県科学技術振興奨励賞を頂くという栄誉に恵まれました。黄金のひらめではありませんが、彼から祝詞をうけ、自分が受賞したかのようにうれしいと言ってくれた友の言葉に、言い尽くせない感謝の思いがこみ上げてきます。

### ロケット研究― 直線

私がかかわっておりますロケットエンジンの分野は、約10年かけて開発します。初めの約2年ぐらいで設計、製作をした後、残りの約8年は、エンジンの性能や信頼性を確認する試験の繰り返しの日です。その間、爆発事故などのトラブルやいろいろな問題に關して、多くの技術者の苦労と努力が払われています。宇宙に向かつて一直線に飛び立つロケットの姿は、まさに10年前の技術と思ひ出と知恵と汗が入っているタイムカプセルの如きものなのです。ロケットの打ち上げそのものは華々しいものですが、その陰に、極限までの性能を求める基礎技術の成果がしっかりとこれを支えているのです。そのような縁の下の力持ちの研究の一分野を担ってきたことを誇りとし、また私の青春時代を育ててくれた古里、先生方、先輩、元気で頑張っておられる旧友達に深く感謝するものであります。

# 「萩の乱」から百二十年

## 郷土史家の松本二郎さん

### 研究書を復刊して急逝

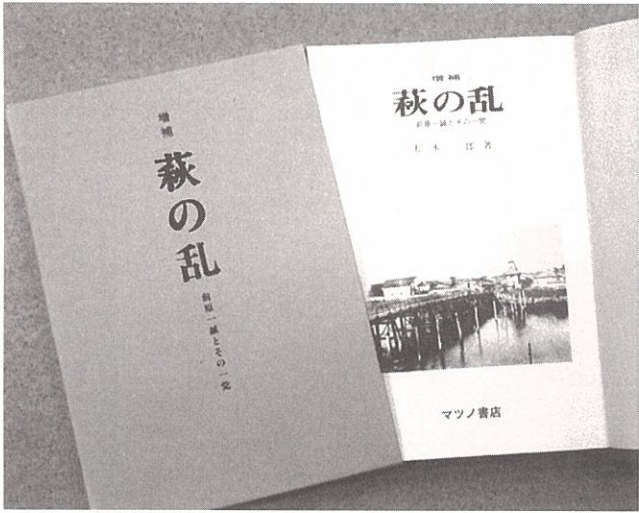
松本二郎さんは、旧制萩中、萩高女、萩高で漢文を教え、退職してからは維新史など郷土史の研究に没頭していましたが、去年の9月、98歳で死去されました。

維新史の中でも特に萩の乱の研究に力を注ぎ、昭和47年に出版した「萩の乱 前原一誠とその一党」は、萩の乱について今でも最も詳しい本で、考証の厳密さは高く評価されています。

萩の乱から120年目に当たる去年、マツノ書店から改訂増補版を復刊することになり、新たに28ページを書き加え、校正は亡くなる直前に病床で行いました。

萩の乱では親族が幹部として加わり自害しているのが、特別の思いがあると前書きに書いています。

維新史の中で長州は普通



復刊した「萩の乱」

増補「萩の乱 前原一誠とその一党」は限定千部発売定価4千円 マツノ書店(徳山)

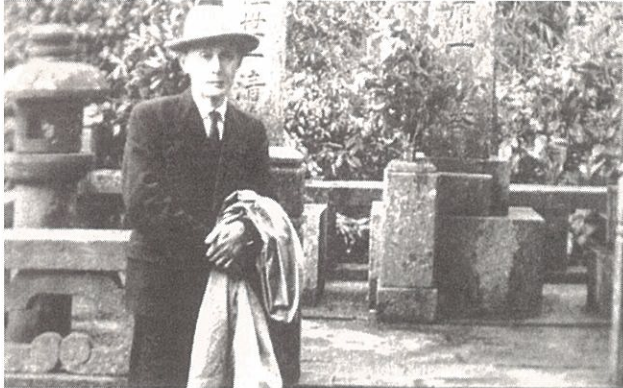
「勝者」と見られていますが、歴史はそんなに単純なものではなく、足もとの萩に「敗者」もいたことを指摘したかったのかもかもしれません。

「萩の乱 前原一誠とその一党」は、感情を抑制して事実だけが提示され、「敗者」の歴史が淡々と記述されています。

松本家は代々萩藩の算学師範で、藩校明倫館で算術の教師を務めた学者の家筋ですが、松本二郎さん自身は、学歴不足のため、教員免許を検定試験で取得した努力の人でもありました。

萩市郷土博物館・近藤隆彦館長の話

「松本先生と初めてお会いしたのは30年前のことですが、郷土史研究の大御所として近寄りた存在でした。しかし、つたない疑問にも寛大に耳を傾けられ、親切に指導をいただいたました。漢文、古文書の読解力は抜群で、漢詩の研究者として、は県下の第一人者でした。先生はいつも、正しい歴史の探究は想像ではなく裏付けのある史実の究明が大切だ、と云っておられました。平成2年には是非書き残しておきたいと云われていた、吉田松陰先生の詩文の解釈本が松陰神社から出版され、大変喜んでおられました。」



松本二郎さん(前原一誠の墓前で)

越ヶ浜漁協婦人部は笠山周辺の海岸を魚が寄りつき易い海岸にしようと、去年の十二月、クロマツの苗木二百五十本を植えました。

日本列島の海岸線には、魚つき保安林として昔の人が保護育成してきた松林があります。その松林が今、松食い虫による被害で次々と姿を消そうとしています。

### 豊かな海を守ろう



越ヶ浜漁協婦人部はこれまで、家庭排水による海の汚染を防ぐため、洗剤をやめて天然の石鹸を使う

### 漁協婦人部が

### 笠山に植樹

漁業者はこれまで海にばかり目を向けてきました。が、豊かな海を守るために、最近では陸の環境に注目するようになりました。

二年前、長門市で開かれた「全国豊かな海づくり大会」では、森に木を植えて魚を増やす活動を推進した北海道の漁協婦人部が、会長表彰をうけました。

運動を続けています。また、萩市で一番早くからゴミの分別収集やリサイクル活動を始めるなど、環境問題を真剣に考え、実行しています。

今後は、笠山に桜を植えて魅力ある観光地にしようというグループと協力し、笠山全域の環境保護運動を広げることになっています。

### 困った！ 見島沖で他県の漁船がクロマグロを捕獲

萩市見島沖の八里ヶ瀬海域は、日本でも有数のクロマグロ好漁場となっています。しかし、最近では、他県の大中小型巻き網船団が大量にクロマグロを捕獲し、地元漁民との間でもトラブルが生じています。

野村萩市長と萩市の漁業協同組合では、十二月二十五日、海洋保護の資源を守ろうと、操業禁止区域の拡大を国に要望するように山口県に陳情しました。

八里ヶ瀬海域では、山口県が一九七四年に漁業調整規則に基づき中型巻き網船(5、40トン)を対象に半径三キロの円状に通常の操業禁止海域を設定しました。また、国においても40トンを超える国の許可となる大中小型巻き網船の操業禁止海域を見島を中心とする半径十キロ以内を設定しました。

しかし、国許可の大中小型巻き網船にとっては八里ヶ瀬の禁止海域は規制の対象とならないため、国の禁止ラインが十キロにはほぼ全域が、十二キロでも海域の半分までクロマグロ漁が可能な状態で「県内の業者には禁止し、他県には漁をゆるしているような、不合理な状態」が生じています。

今回の陳情は、今年八月が五年に一度の国の指定漁業一斉更新時期にあたり、この機会に改善を求めたものです。

萩から青年海外協力隊員として、南米・パラグアイで活躍した二人の青年が帰国しました。

とても親しみやすかった



増野浩幸さん

この二人は、増野浩幸さん(萩市無田ヶ原)と三村和義さん(萩市川島)です。

増野さんは、萩高等学校を卒業後、横浜のコンピュータ関係の会社の勤務を経て「自

分の目で海外を見、自分の持っている知識を海外で役立てたい」と、青年海外協力隊員に応募し、平成六年八月から平成八年八月まで派遣されていました。現地では国立工業高校で夜間、社会人を対象に電子回路設計について授業を行っていました。「不思議なことに、パラグアイの人々の考え方や人付き合いが日本人によく似ており、とても親しみやすかった」と、増野さん。

増野さんのお姉さんも、青年海外協力隊員としての経験を持ち国際ボランティアとして活躍されました。

### 国際化、海外ボランティア活動も盛ん！

#### 青年海外協力隊員

何をすることも積極的でした

一方、三村和義さんは萩高等学校、福岡大学を卒業して山口県立中央高校で教鞭をとっていました。現在の職業が生かせるボランティア活動がしたいとのことで、二年間休職して青年海外協力隊員に参加しました。派遣期間は平成六年十二月から平成八年十二月まで、パラグアイでは理科教員の養成に従事しました。「生徒が何をすることも積極的なパラグアイの学校に比べ、日本の学校はゆとりがなく、寂しい感じがします」と、三村さんは印象を語ってくれました。



野村市長に帰国報告する三村和義さん(左)

# 「萩をパソコンソフトの開発拠点に」

— 評論家の上里さんが構想 —



## 女子短大を四年生大学に

萩商工会議所が申し入れ

昨年12月25日、萩商工会議所（山縣喜一会頭）は萩女子短期大学を経営する学校法人萩学園（権堂義幸理事長）に「現在の女子短大を発展的に改組し、4年生大学の設置を」、また萩市と萩市議会に對して「4年生大学の萩市誘致実現への理解と絶大な支援を」を要望しました。

萩商工会議所では、現在市内の47団体に對して「私立4年生大学誘致実現市民会議（仮称）」の結成を呼びかけており、1月19日には結成される予定です。山縣会頭は、今回の申し入れは「萩市の教育文化の向上と活性化のため」と話しています。

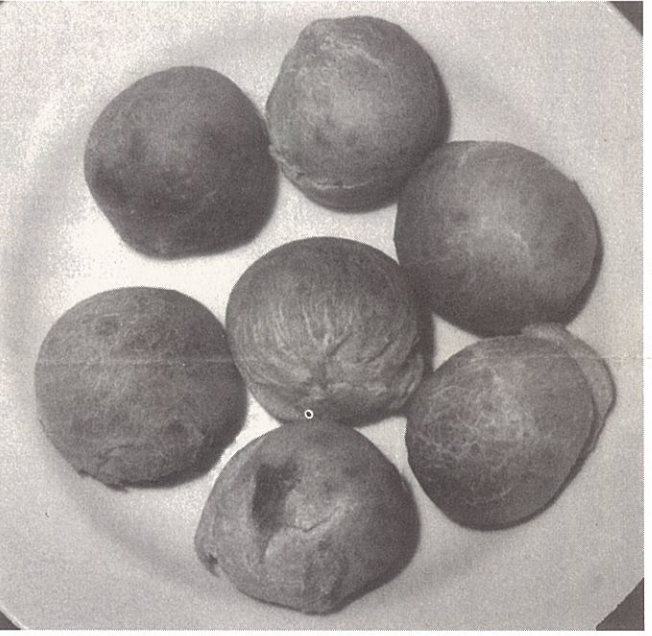
構想では、現在の国文・生活の2学科から1学年300人、定員1200人の男女共学の4年生に改組し、施設は現在の短大（萩市椿東・後小畑）の施設を利用するほか近くに用地を確保して整備することになっています。

野村萩市長は「若年人口が減少している地域にとつては、4年生大学の誘致は魅力ある存在です。市民の理解が得られれば検討していきたい」と話しています。



野村市長に要望書を手渡す山縣喜一会頭

## あなたも「幕末パン」を手作りで賞味しては



再現された幕末のパン

焼きたてを割ると、香ばしさと酒母の甘い香りが広がりに口に入れるとほのかに甘味が残り、また味わい深い。こんなところが市民や観光客の間で受けられています。

全国からその作り方についての問い合わせも多く寄せられています。そこで、今回家庭でもできる幕末パンの作り方を紹介します。

この「幕末パン」は郷土博物館が幕末の萩藩士で科学者の中嶋治平（1823～1866）が長崎で筆写したパン製造の記録をもとに、復元したものです。パン製造の記録は、治平のひ孫にあたる市内浜崎新町の中嶋健二さん宅で見つかったもので、オランダ語でパンを意味する「ブロード」の項目に、材料と製造法が書いてあったものです。試行錯誤の末出来上がった「幕末パン」是非一度お試しください。

◆本（酒母）の作り方（180個分）  
・1日目  
①一晩水に浸しておいた白米一合を蒸し器で蒸す。  
②これが人肌にあたらぬようじ一合を加えてよくかき混ぜる。  
③さらに60度くらいのお湯一合を加える。  
④ブルガリアヨーグルトを少々加える。  
⑤40度くらいで一昼夜おく。  
⑥ドライイーストを砂糖を加えた30度くらいのお湯少々に溶かし10分くらいおく。  
⑦前日に作っておいた酒母を20度くらいに下げ、お湯に溶かしたドライイーストを少々加える。  
⑧2・3日で発酵がおさまれば、酒母は完成する。

◆パンの作り方（30個分）  
・パンの生地作り  
粉（強力粉600グラム）・卵（5個）・砂糖（50グラム）  
酒母（1/2カップ）を混ぜ合わせ、25度で一晩寝かせる。  
・パンの焼成  
生地を約30等分し形を整え、オーブンで温度180度、時間約13分で焼く。

\*「幕末パン」の作り方に於いての問い合わせは、萩市郷土博物館（0838・25・6447）まで。



上里さんは中学2年まで萩で過ごし、山口高校を卒業して早稲田大学、横浜国立大学を中退しました。東京の駿台予備校講師や出版社嘱託をつとめた後、文筆活動に入り、上里剛士の本名と高杉俊一郎のペンネームで、幕末維新関係や能力開発をテーマにした本を書いてきました。

萩は歴史、自然が豊かで、季節の移り変わりも身近に感じられるので気分転換に良いと思います。2年前にUターンしました。

出版社への原稿はパソコン通信で送るので執筆生活に支障はなく、それに吉田松陰や高杉晋作が維新を考えた原点に自分もいると思うと良い発想が生まれるそうです。

これまでも幕末などで萩には時々帰っていましたが、実際にUターンしてバスを降り立ったとき「ここが自分の場所だ」という気持ちがかみ上げてきて、とても嬉しかったという事です。ところが、萩で暮らして気になるのは、若い人たちが町を出て行くばかりで活気がないことです。

現在、行政を中心に高規格道路の建設に取り組んでいますが、交通網の完成を待っていたら手遅れになるのでは、と思うようになりました。

ソフト開発の夢タウンをつくらう

そこで上里さんは、萩にふさわしい産業としてコンピュータソフトの開発はどうか、と考えました。

上里さんは有志と議論を深め、2年ぐらいいかけて具体的な計画にまとめるつもりです。

もっと詳しく知りたい方は、意見のある方は上里さんのインターネットホームページへどうぞ。「http://www.john-yamaguchi.jp/agari/」

上里さんの著作紹介  
「明治維新はエピソードがいっぱい」日本実業出版社  
「雑学ニッポンの武士道」日本実業出版社  
「自己改造」産業能率大学出版部  
高杉俊一郎のペンネームで「脳を鍛える」経済界

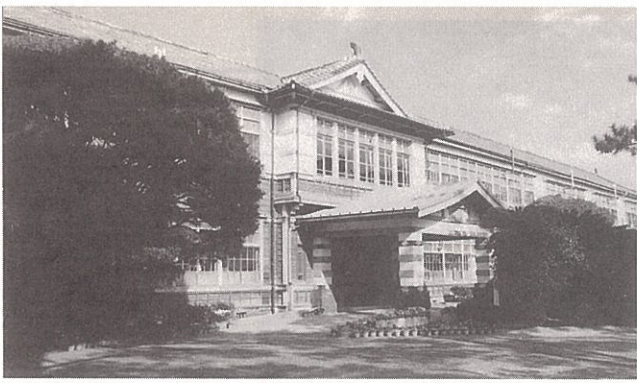
この展覧会は、毛利元就就画像や元就所用の甲冑、刀などのほか文学をもつて朝廷に仕えた毛利氏の始祖・大江氏から元就に至るまでを描いたもので、2月の東京での開催を皮切りに9月まで、広島・名古屋・山口で開催されます。展示内容は甲冑や刀、自筆書状等ほか純欄な能衣装、雪舟とその弟子が描いた水墨画、毛利氏伝来の美術品など国宝や重要文化財を含む約2800点で構成されています。

# 文化庁の文化財建造物に登録

## 山口県から明倫小学校本館と萩駅舎！

明倫小学校本館と萩駅舎が、文化庁の文化財登録制度に基づく登録有形文化財に登録されました。

この文化財登録制度は、都市開発や生活様式の変化等により消滅の危機にさらされている近代の建造物を登録して、その保存及び活用を促す制度です。建築物や土木構造物のうち、原則として建築後50年を経過し、(1)国土の歴史的景観に寄与するもの(2)造形の規範となっているもの(3)再現することが容易でないものを対象としています。第1回目の今回は全国で119件、山口県からは萩市の2件が登録されることとなりました。



明倫小学校本館



萩駅舎

### 伝統様式に

#### 近代的な意匠

明倫小学校本館は、毛利藩校の旧明倫館跡地に昭和10年

(1935)に建てられ、最近ではほとんど見られなくなった木造学校建築(2階建)です。外壁は、1階部分が簾子下見板張り(板を羽重ねにして取り付けたもの)、2階部分が白漆喰塗りになっています。また、連続する窓のデザインが特徴的です。伝統様式の中に、近代的なデザインを取り入れられています。

### 大正時代の洋風建築

萩駅舎は、萩に初めて鉄道が敷かれた大正14年(1925)に建築されました。現存する数少ない鉄道開通時の駅舎です。建物は、棟先を切り落とした屋根や上下に開閉する窓など洋風のデザインとなっています。

### 建築当時の明倫小の設計図等が見つかる

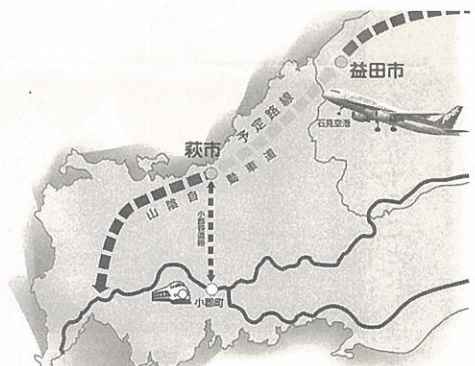
昭和10年に建築(新築)された明倫小学校の設計図や仕様書が見つかりました。これは、明倫小学校建築の建築技師であった故・清水清氏(萩市出身)の娘・岡本和さん(80歳)と孫・岡本勝海さん(52歳)が保管されていたものです。

設計図は建物の正面と横の図で、仕様書には使う材木やボルトの打ち方、仕上げの仕方などが克明に記録されています。明倫小学校の建築当初の資料は、市にもほとんど残っておらず大変貴重なものとなります。

## 地域間交流の拡大や経済の振興をめざして

### 山陰自動車道(益田～萩間)

#### 整備促進期成同盟会



昨年12月19日、益田市及び萩市近郊の町村が地域の振興をめざすと、山口・島根両県の2市9町5村(山口県1市4町4村、島根県1市5町1村)の行政・議会関係者が市内ホテルに集まり、山陰自動車道(益田～萩間)整備促進期成同盟会の設立総会が開かれました。

総会では、会長に野村萩市長、副会長に斉藤萩市議長、田中益田市長・大場益田市議会議長を選出した後、今後山陰自動車道の早期整備に向け国・県への要望行動等を行っていくことを決定しました。山陰自動車道は、昭和62年9月に国土開発幹線自動車道建設法が一部改正されたに伴い、国土開発幹線自動車道の予定路線となりました。鳥取市を起点とし、美祿市を終点とする総延長417キロメートルです。既に、一部区間は基本計画区間となっており、益田・萩間は予定路線となつたままです。この益田・萩間が整備され



萩市内のホテルで開かれた設立総会

ると、北浦の空の玄関口である石見空港が近くなるだけでなく、現在整備が進められている自動車専用道路萩・三隅道路や地域高規格道路萩小郡道路など、萩が高速交通拠点として北浦地域の高速交通ネットワークが形成され、地域間交流の拡大や経済の振興等が図られ萩市の活性化につながるものとして大いに期待されます。

## 「萩往還」が歴史の道百選に



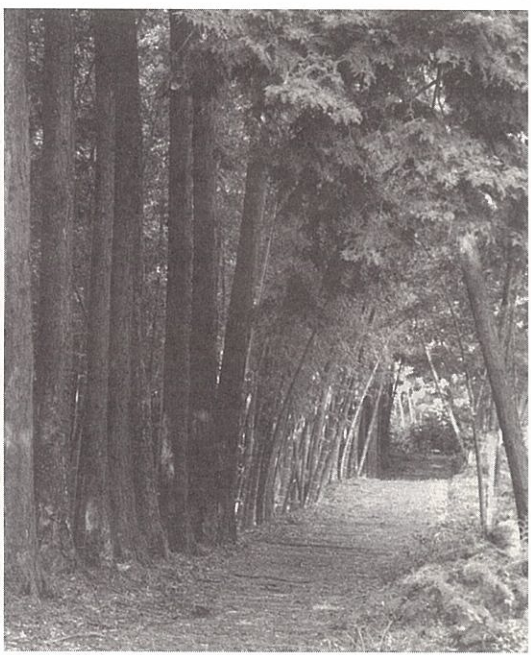
萩往還(旭村明木一升谷)

「歴史の道百選」の一つに、萩往還が選ばれました。これは、文化庁が昭和53年度から全国の古道・水路等を調査・整備する「歴史の道」事業を進めるため、これまでに全国の36都道府県で350を超える調査を実施してまいりました。その結果、特に保存状態の良好なものを選んで、「歴史の道百選」に選定し、広く国民にその活用を呼びかけ、今後の保存整備事業を推進しようというものです。

る基礎をつくりました。

しかし、萩が城下町として発展するためには、萩に通ずる交通網を整える必要がありました。そこで、最初に萩から山口を経て、山陽の三田尻(防府)に至る街道を整備しました。これが萩往還です。萩藩の藩主が参勤交代の際に通つたので「御成道」ともいいます。もちろん、藩主だけではなく武士や町人、農民もこの道を旅していました。沿線には、当時を偲ぶ駕籠建場や一里塚、日本で初めて女性解剖されたという大屋処刑場跡などが残っています。

萩市では、昭和57年から60年にこの萩往還の整備を行いました。また、市民や観光客に萩往還の歴史をもっと知ってもらおうと、萩往還を利用して、各種の行事を行っています。



萩往還(萩市大屋)

萩往還は、萩から旭村・山口市・防府市までの陰陽を結ぶ街道で、全長は52.72キロメートルです。慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いに敗れた毛利

# 社長

インタビュー

## 株式会社広松社長

ひろせまつじろう  
広瀬松次郎さん



水産加工品を全国に宅配便で届けている萩市越ヶ浜の株式会社広松は、今ふぐ料理の出荷が繁忙期を迎えています。従業員50人を指揮して経営を切り盛りしているのは社長の広瀬松次郎さん43歳です。

広瀬さんは東京電機大学工学部機械科を卒業し、家業の

海産物販売の仕事についてた人で、業界では変わり種の部類に属します。

そのため従来からの商習慣にとらわれずに新鮮な発想が生まれ、新しい領域を切り開くことができる、と云います。

昭和60年から始めたふぐ料理の宅配は、注文が年々倍増

### ふぐ料理と干物を全国に宅配

し、今では10月から3月までのシーズンに7千セットの注文をさばっています。

最初は一抹の不安を抱きながら始めた通信販売ですが、間もなく供給が追いつかなくなり、生け簀を作って生きたふぐをストックして、いつでも需要に応じられる体制を整えました。

現在では20トンの生け簀に

常時300セット分の生きたふぐを蓄養して、出荷に支障がないようにしています。

こうした工業生産的な発想が、新鮮さが命とされる魚の全国宅配を可能にしている訳です。

ふぐ料理のセットは五種類あり、一番安いのは「ふくちりセット(3〜4人前)」が

1万円(送料・消費税込み)、また刺身、ちり用あら、皮湯引き、ひれ酒用ひれのそろったフルセット(4人前)が2万円となっており、料亭よりもかなり割安にふぐ料理を楽しむことができます。

このふぐ料理は、市内の家庭や旅館、ホテルからの注文にも応じています。

広松ではかれい、金太郎、ゆかりの遺跡が残っています。

## 萩・ひと・人

さよりなど干物類のセットを38通り用意していますが、市外への贈答用や、東京、大阪に住む萩市出身者からの注文も多いということです。

送り出す商品にはアンケート用の葉書を入れ、顧客とのコミュニケーションをはかり、消費傾向の動向を把握するようつとめています。

仕事の上での様々なノウハウやヒントは、青年会議所時代の仲間から学ぶことが多く、同業種、異業種との交流が刺激になり、励みにもなると云います。

鮮魚、干物、ふぐ料理が広松の三本柱で年商は5億5千万円ですが、社内のシステムを時代の変化に合わせて工夫改良していけば、まだまだ売り上げを伸ばすことは可能だと、広瀬社長は話しています。

なお広松では、事業が順調に



伸びていることに感謝する気持ちを、何かの形で表そうと、毎年老人ホームなどの福祉施設にふぐ料理の無料サービス

をしています。問い合わせ 注文はフリーダイヤル(0120・002934) へどうぞ。



「百万一心」の碑 (萩高内)

元就は、萩城を築いた毛利輝元の祖父にあたります。元就は安芸国吉田の郡山(現在、広島県高田郡吉田町)に居城をもち、中国地方10か国120万石を領有する戦国大名でした。しかし、輝元の代になって関ヶ原の戦いに敗れ、周防・長門2か国36万石に減封され、萩に居城を定めました。萩城の築城工事は慶長9年

(1604)に開始され、4年後の慶長13年に完成します。以後、萩は文久3年(1863)に藩庁を山口に移すまで、藩主毛利氏13代、260年にわたって城下町として栄え、明治維新胎動の震源地となりました。萩藩主毛利氏やその家臣たちにとって、元就は「神君」と仰がれ、藩体制結末の精神的拠り所であり

### 元就公ゆかりの史跡

#### 「百万一心」と「三矢の教え」

現在、萩市内には元就の遺訓を今に伝える「百万一心」と「三矢の訓」の史跡が存在しています。また萩城跡内には、元就の菩提寺洞春寺、元就の正室の菩提寺妙玖寺、元就をまつった仰徳神社のほか、安芸国吉田から移した満願寺や宮崎八幡宮など、元就

ゆかりの遺跡が残っています。堀内の萩高等学校の校庭には、「百万一心」の石碑が建てられています。「百万一心」は元就の語といわれ、郡山城の増築を行う際に、人柱にかえて「百万一心」の語を石に刻んで埋め、城が堅固であるように願ったという伝説が伝わ

りました。その後、明治15年になって泰信はその時の記憶をたどり、石に刻まれていた四文字を模写し、その由来を記した額を、元就をまつる山口の豊栄神社に奉納しました。萩高等学校の「百万一心」の石碑は、昭和3年(1928)に建てられ、13代萩藩主毛利敬親の孫の毛利元昭の筆になるものです。オリジナルの字体とは異なっていますが、元就の協同一致の精神を学校教育に生かそうとしたもので、当時の萩中学校では校訓に吉田松陰の士規七則と合わせて、元就の「協同一致」が加えられました。現在も、明倫小学校の大運動会の最後に飾る競技種目に「百万一心」があります。全校児童が力を合わせて紅白の大きな玉を転がす様は、まさに「百万一心」の精神にふさわしいものがあ

ります。江向の萩市民館の前には、「三矢の訓」の銅像が建てられています。この銅像は昭和39年に建てられたもので、像の作者は萩出身の彫刻家長嶺武四郎です。「三矢の訓」の銅像は萩のみに建てられており、他の元就ゆかりの地にはありません。「三矢の訓」は、元就が隆元・元春・隆景の3人の息子へあてた教訓状をもとに作られた説話です。1本の矢なら簡単に折れるが、3本まとめて束にすれば折れない。それと同じように、3人が力を合わせれば、誰にも負けることはない、と諭したと伝承されています。昭和44年に明倫小学校の屋内体育館ができるまで、旧講堂には「三矢の訓」の場面を描いた額が掛かっていました。この額は、萩出身の陸軍中将山根武亮が



「三矢の訓」の銅像 (萩市民館前)

明倫小学校に寄贈したものです。明倫小学校の児童たちは講堂に入るたびにこの額と対面していたので、「三矢の訓」の話と額の絵がいまだに脳裏と喚び焼き付いている方が多いことでしょう。ちなみに明倫小学校の校章は、元就の三矢をデザイン化したものです。



「広島指月会、発足総会」

盛会だった広島指月会の発足総会

皆さんよろしく  
お願いします。

### 広島指月会が 新たに発足

昨年11月10日、広島市・メラルパーク広島で広島指月会の発足総会が開催されました。当日、総会には萩高校長や同窓会長、恩師などの来賓を含め61人の同窓生が出席し、懐かしいふるさとの思い出、高校時代の話が花が咲きました。会長には小松達男(北高2期・昭和25年卒)さん、事務局に赤崎辰也(31期卒)さんが就任されました。

事務局  
赤崎辰也 082・870・2081

# 情報アラカルト

「萩ネットワーク」の購読料は年間2000円です。申し込みは萩ネットワーク協会へ。  
電話0838・25・3131 FAX0838・26・5458

## 北海道地区

### ◆山口県の物産と観光展

山口県の優れた物産観光資源を紹介します。萩からは萩焼・萩ガラス、かまぼこ等の水産加工品が出品されます。また、萩焼のロクロ体験、萩ガラスのガラス教室が開かれます。

とき 1月21日(火)～1月27日(月)  
ところ 札幌市・三越札幌店

## 信越地区

### ◆萩焼作家の個展

#### ◎守繁栄徹・徹父子展

とき 2月12日(水)～2月17日(月)  
ところ 長野市銀座町・そごう百貨店

## 関東地区

### ◆世田谷ポロ市

世田谷ポロ市のふるさと物産展に、萩市からも萩焼などの特産品が出店されます。

とき 1月15日(祝)・16日(木) 午前9時～午後6時  
ところ 世田谷信用金庫構内駐車場

### ◆山口県の物産と観光展

山口県の優れた物産観光資源を紹介します。萩からは萩焼・萩ガラス、かまぼこ等の水産加工品が出品されます。また、萩焼のロクロ体験や萩ガラスのガラス教室が開かれます。

とき 2月4日(火)～2月9日(日)  
ところ 東京・三越日本橋店

### ◆「毛利元就展」—その時代と至宝— 東京展

とき 2月8日(土)～3月30日(日)  
ところ 東京都台東区上野・東京都美術館

### ◆萩焼作家の個展

#### ◎「素材の予感」

萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 1月9日(木)～1月24日(金)  
ところ 東京都新宿区百人町・マスダスタジオ

#### ◎「机上空間の為にアートワークス展」

萩焼作家・三輪和彦の作品が展示されます。

とき 1月11日(土)～1月29日(水)  
ところ 東京都千代田区・セブネスビル1F コンテンプラリーアートNiKi

#### ◎野坂康起作陶展

とき 1月21日(火)～1月26日(日)  
ところ 東京都日本橋・三越本店

#### ◎濱中月村さんの息子「濱中史朗と大屋窯の仲間達」

とき 1月22日(水)～2月9日(日)  
ところ 東京都渋谷区神宮前・ギャラリー1000

#### ◎「悠久の美・日本の陶磁器」

萩焼作家・中村真一の作品が展示されます。

## 東海地区

### ◆萩焼作家の個展

#### ◎三輪栄造茶陶展

とき 2月27日(木)～3月4日(火)  
ところ 静岡市・松坂屋デパート6F美術部

## 関西地区

### ◆萩焼作家の個展

#### ◎岡田裕作陶展

とき 3月22日(土)～3月27日(木)  
ところ 大阪市阿倍野区・近鉄百貨店

## 九州地区

ミス萩観光があなたの町を訪問します。

#### ◆ながと路観光連絡協議会宣伝隊

とき 1月27日(月)午後4時30分～熊本市(街頭宣伝)、1月28日(火)午後5時～鹿児島市(街頭宣伝)、1月29日(水)午後5時～長崎市(街頭宣伝)、1月30日午後1時～福岡市(表敬訪問、街頭宣伝)

#### ◆長州路観光連絡協議会宣伝隊

とき 2月4日(火)午後1時30分～大分市(街頭

宣伝)、2月5日(水)午前10時30分～日田市(訪問宣伝)・午後1時30分～久留米市(訪問宣伝)、2月6日(木)午前10時～長崎市(訪問宣伝)、2月7日(金)午後1時～熊本市(訪問宣伝)

## 山口県関係

### ◆企画展「正月飾り」

毛利家に伝わる正月飾りの毛利元就所用の御佳例吉甲冑・御佳例盃・日の丸軍扇・御重代太刀(銘豊後国定秀)をメインにして、正月の遊戯具のカルタ・将棋盤・すごろく盤など約50点の資料を展示されます。

とき 1月4日(土)～1月26日(日)  
開館時間は午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

※月曜日は休館日。

ところ 防府市・毛利博物館

入館料 大人700円、小中生350円(30人以上の団体は20%引)

### ◆萩焼作家の個展

#### ◎金子信彦個展

とき 3月7日(金)～3月13日(木)  
ところ 下関市・下関丸

## 萩市関係

### ◆江戸時代の萩ガラス第2期復元品展示会・新作萩ガラスの茶道具展示会

とき 1月1日(祝)～1月15日(祝)  
ところ 萩市越ヶ浜・萩ガラス工房

### ◆「中国仙人のふるさと」山東省文物展

春秋戦国時代から漢代までの山東古代文化の精華を見ることができます。

とき 1月5日(日)～3月16日(日)午前9時～午後4時30分

ところ 山口県立萩美術館・浦上記念館

入館料 一般720円、高大生510円、小中生300円

\*月曜日は休館日。20名以上は団体割引あり。

### ◆萩・花ごよみ'97 萩・椿まつり

日本最大級の笠山のヤブ椿群生林。約2万5000本の椿が深紅の花をつけて、皆さんをお迎えます。

とき 2月22日(土)～3月23日(日)  
ところ 萩市越ヶ浜・笠山椿群生林

## テレビ・ラジオ

### ◆「鬼萩・三輪休雪の世界」ハイビジョン

人間国宝・三輪休雪の鬼萩の作品にスポットをあてる。鬼萩の「白」の魅力を紹介する。

放映予定日 1月2日(木) 正午～午後0時30分

(再放送) 1月5日(日) 午後8時30分～午後9時  
◆年末年始特集「人間国宝・三輪休雪の世界」NHK総合

人間国宝となってからも日々坦々とした生活を送り続ける三輪休雪の「鬼萩茶碗」への変わることのない気迫を通して、作品の魅力と作陶への姿勢を描きます。

放映予定日 1月3日(金) 午前8時～午前8時44分

### ◆日本悠々「早春・城下町 萩」NHK・BS2

NHK衛星第2テレビの代表的な大型番組「日本悠々」で萩から生中継。テレビを通じて、魅力的な場所の「仮想旅行体験」することができる。

放映予定日 3月2日(日) 5時間の生放送

### ◆「くいしん坊!万才」KRY山口放送

くいしん坊!万才で、萩地域の料理が一挙に紹介される。

放映予定日 1月13日(月)「ムカゴご飯」、1月20日(月)「オコゼのしゃぶしゃぶ」、1月27日(月)「維新ずし」、2月3日(月)「幕末パン」、2月10日(月)「ふくのすっぽん煮」

\*時間は、いずれも午前11時20分から。

## 書籍

### ◆「乱世の智将 毛利元就」古川薫著(中国新聞社)

「天下を競望せず」を信条とした元就の生涯は自由を束縛するものとの戦いであった。疾風怒濤の戦国時代を生きた毛利元就のゆかりの地を訪ね武将としての元就の生き方を追う。写真、図版がたくさんあり、分かりやすい。

定価 1854円

### ◆「毛利元就・上」内館牧子著(NHK出版)

NHKの大河ドラマ「毛利元就」を脚本した内館牧子が大河ドラマ的に小説化したもの。

定価 1500円

### ◆「中国の盟主・毛利元就」岸田裕之監修(NHK出版)

NHKの大河ドラマ「毛利元就」の歴史・文化ガイド。毛利元就ゆかりの地が写真を中心に分かりやすく説明してある。

定価 1300円

### ◆「毛利の城と戦略」(成美堂出版)

日本史上の最激動期・戦国時代に西国制覇を成し遂げた毛利氏の城に秘められた戦略と智略をみる。萩城も写真入りで紹介されている。

定価 1300円

### ◆「高杉晋作の上海報告」宮永孝著(新人物往來社)

今から百数十年前に上海を中心とする地を訪れた日本人は、驚愕と幻滅を交互に感じたことは想像にかたかない。高杉晋作の目に映った上海はどんなものであったのだろうか。

定価 3200円

## —大阪—

## 私のお店

## —広島—

### 古香庵 本田屋

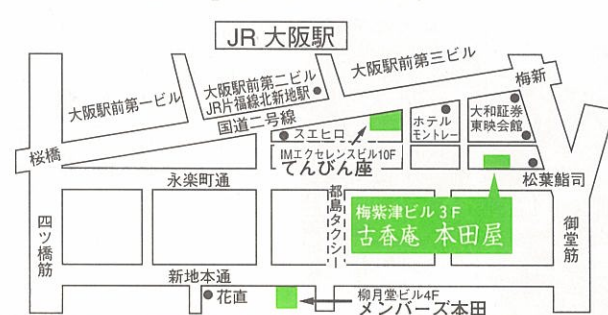
(大阪市北区曽根崎新地1丁目8-7 梅柴津ビル3F)  
TEL 06・341・1809

### てんびん座

(大阪市北区曽根崎新地1丁目11-20 IMエクセレンスビル10F)  
TEL 06・344・5650

### 本田まち子さん

開店して23年目を迎えました。長州女の心意気で頑張っています。元首相の岸さん・佐藤さんや、故・安部晋太郎さんに懇意にしてもらっていました。最近、店を和洋折衷に改装し、座敷は堀ゴツツになっており、ゆっくりと落ち着いた雰囲気の中で楽しめます。食材も山口県から取り寄せ、ふるさとの味をお届けしています。また、歌に自信のある人にはカラオケも用意してあります。「山口県人には、料金を割り引かせていただきます」と本田さん。本田さんは和服姿のよく似合う山口美人で、そのきっぷの良さも店の看板です。料金もお手頃。なお、本田さんの娘さんも近くで「クラブ メンbers本田」を、妹さんは徳山市靴町で「ステーキの上田」を経営しています。



### クラブ 瓶 (てい)

(広島市中区流川町1-24 TEL 082-244-7676)

### 上村良子さん(萩高S32年卒)

クラブ瓶は、広島市のほぼ中央に位置しています。ゴージャスなムードが漂う店です。店内は、テーブル席のほか6席のカウンターがあります。フリードリンク制で、ブランド、ウイスキー、日本酒と品揃えも豊富です。常時24～5名の女性があなたのお越しをお待ちしています。1人1万5000円程度で、ゴージャスな雰囲気の中で、ゆっくりとお酒をお飲みすることができます。広島の夜をきっと満喫していただくことができると考えています。皆さんも広島にお越しの際は、是非お立ち寄りください。ふるさと萩について語ってみませんか。

